

教科名	国語	週時間数	4時間	学年	2年			
使用教科書 副教材等	・教科書 国語 2(光村図書) 中学書写(光村図書) ・副教材 よくわかる国語の学習2(明治図書) 学習漢字ノート(浜島書店) 新・国語の便覧(正進社) つまずかない!文法の学習(新学社)							
教科のねらい	<p>言葉の意味、働き、使い方等に着目しながら、言語活動を通して、国語で表現された内容や事柄を正確に理解する資質・能力、国語を使って内容や事柄を適切に表現する資質・能力を身に付ける。</p> <p><知識及び技能>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関することなど、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 <p><思考力、判断力、表現力等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 <p><学びに向かう力、人間性等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 							
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を中心に進めながら、必要に応じて、ワーク、プリント、ICT等を活用する。 ・自力解決に加え、相談や他者の意見を参考に課題に取り組む。 ・発表・音読・スピーチ・表現活動等、生徒一人一人が活動できる工夫を行い、興味・関心を高める。 							
定期テスト	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。(読解問題を中心として、言語・作文問題など。)漢字問題は、ワークから出題。						
	範囲 (予定)	1学期中間	詩	物語	古典	文法	漢字	作文
		1学期期末	説明文	短歌	文法	漢字	作文	
		2学期中間	物語	説明文	文法	漢字	作文	
		2学期期末	古典	詩	説明文	文法	漢字	書写
学年末	説明文	物語	文法	漢字	作文			
評価方法	知識・技能	漢字小テスト、書写、暗唱、定期テスト(漢字・文法・古典知識・文学史等)等						
	思考力・判断力・表現力	作文、授業中の課題の内容、聞き取りテスト、定期テスト(話す・聞く、書く、読む)等						
	主体的に学習に取り組む態度	課題への取り組み方、提出物、振り返りの内容等						
学習方法 (先生からの アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもった上で、他の人の考えを聴き、自分との相違点を考える。 ・わからないことをそのままにせず、復習や漢字テストの勉強等、自ら学習を進める。 ・新聞や本を読み、多様な表現に触れたり、知識を深めたりする。 							

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
I	4	詩	「見えないだけ」	◎詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ◎詩にこめられたものの見方を捉える。
		小説	「アイスプラネット」	◎人物の設定に関する情報を、図を用いて整理する。 ◎人物の設定に着目し、人物像や人物どうしの関係を読み取る。
	5	言語	「単語をどう分ける？」	◎自立語について、分類の観点や各品詞の性質などを理解する。
		話す・聞く	魅力的な提案をしよう	◎言葉には相手の心を動かし、行動を促す働きがあることを知る。 ◎話の構成を工夫し、資料や機器を使って、自分の考えをわかりやすく話す。
		古文	枕草子	◎自然や人間に対する筆者のものの見方や心情を、現代の自分と対比して読み取る。
	6	説明文	クマゼミ増加の原因を探る	◎情報と情報との関係を図示するなどして整理する。 ◎文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。
		言語	情報を整理して伝えよう	◎図や記号を使って、情報を整理する。 ◎目的に応じて多様な方法で材料を集め、整理して伝えたいことを明確にする。
			熟語の構成	◎熟語の構成について理解を深める。
		短歌	短歌に親しむ 短歌を味わう	◎短歌の情景や心情を描写する語句に着目し、語感を磨く。 ◎短歌に用いられた、表現の効果について考える。
		随筆	言葉の力	◎本や文章に書かれた様々な考え方に触れる。 ◎文章を読み、知識や経験と結び付けて考えを深める。
	7	言語	類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに	◎類義語、対義語、多義語について理解し、語彙を広げる。
		情報	メディアの特徴を生かして 情報を集めよう	◎情報メディアの特徴を捉え、目的や状況に応じた情報収集のしかたを理解する。
		読書	読書を楽しむ	◎読んだ本を紹介したり感想を伝え合ったりすることにより読書に対する意欲、関心を高める。

2	9	小説	ヒューマノイド	◎文章の構成や場面の展開についての理解を深める。 ◎過去と現在、伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える。
		随筆	字のない葉書	◎随筆の味わい方を知り日常の読書に生かす。 ◎文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考える。
		言語	敬語 同じ訓・音をもつ漢字	◎敬語や同音異義語、同訓異字の働きについて学ぶ。
	10	論説	モアイは語る -地球の未来-	◎意見を裏付けるための適切な根拠の在り方について理解する。 ◎知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する。
		詩	月夜の浜辺	◎詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像する。
	11	古典	平家物語 扇の的	◎古典のリズムを味わい、場面や状況を捉え、登場人物の考え方について自分の考えを持つ。
		古典	仁和寺にある法師 -「徒然草」から-	
		漢文	漢詩の風景	◎漢詩のリズムを意識して読み、描かれた情景を捉える。
		評論	君は「最後の晚餐」を知っているか	◎表などを用いて、情報を整理する。 ◎観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。
	12	言語	走る。走らない。走ろうよ。	◎動詞や形容詞、形容動詞のはたらきや活用について知る。
3	1	物語	走れメロス	◎作品の魅力を語るうえで鍵となる語句を見つけ、その意味や語感を確かめる。 ◎人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉える。
	2	古典	百人一首	◎日本の伝統文化に親しむ。
	3	言語	一字違いで大違い 話し言葉と書き言葉 送り仮名	◎助詞・助動詞のはたらきについて学ぶ。 ◎話し言葉と書き言葉について学ぶ。 ◎送り仮名について学ぶ。

・漢字学習については、副教材で進めていく。

・書写については、2学期を中心に取り組んでいく。(20時間程度)

・3学期に百人一首大会を実施予定。